

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	133児童・生徒の健康と安全の確保		
施策のねらい (めざす姿)	すべての児童・生徒が心身ともに健康で安全な学校生活を送っています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	マネージャー氏名	笠井 真利子

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	学校内外での児童・生徒の安全安心の向上を目指し、学校給食の充実、通学路整備、各種健康診断等を実施する。	③改革・改善内容	児童・生徒の安全安心な学校生活のため、さらなる学校給食の充実及び通学路の安全対策を実施する。
②①に基づく取り組み結果	学校給食については、平成29年度からの新たなアレルギー除去食の提供に向けて準備を行った。通学路整備については、各種ハード・ソフト事業を計画どおり実施した。各種健康診断については、平成28年度から新たに運動器検診を追加した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市内小中学校児童・生徒	意図(対象をどうするのか)	市内小中学校の児童・生徒が、心身ともに健康で安全な学校生活を送ることができている。
②施策の概要	児童・生徒が心身ともに健康で安全な学校生活を送るため、安全安心な学校給食の提供や、通学路整備、各種健康診断などを実施する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	通学路での事故や不審者情報、また、食物アレルギー事故がある中、学校内外における児童生徒の安全に対する関心・要望が高くなっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27～28年度の施策の成果	学校給食については、平成29年度からの新たなアレルギー除去食の提供に向けて準備を行ったことから、29年度にスムーズに開始する事が出来た。通学路整備については、各種ハード・ソフト事業を計画どおり実施した。各種健康診断については、平成28年度から新たに運動器検診を追加し、児童生徒の四肢の異常の早期発見につながった。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	学校災害件数の割合	%	6.1	6.3	6.3	5.0
	ii	子ども安全メール登録者数	人	5,786	4,784	5,543	7,000
	iii	学校給食残菜率(※平成26年度より計量方法の変更あり)	%	25.4	25.4	22.7	12.0
③基本事業成果指標	i	学校定期健康診断受診率	%	97	97	96	100
	ii	災害共済給付申請率(学校災害発生件数の割合)	%	6.1	6.3	6.3	5.0
	iii	「こども110番の家」協力者数	件	1,193	1,308	1,330	1,340
	iv	子ども安全メール登録者数	人	5,786	4,784	5,543	7,000
	v	学校給食アレルギー対応品目数	品	3	3	3	7
	vi	学校給食残菜率(※平成26年度より計量方法の変更あり)	%	25.4	25.4	22.7	12.0
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(28年度決算)	平成29年度予算			
事業費(千円)	1,000,066	1,035,686	(単位:円)	9,487 円	1,153,083		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	通学路での不審者情報などにより、学校・保護者などの関係者から通学路整備に関し新たな対応策が求められている。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	平成28年度に予定していた事業については、全て完了し、指標についても概ね順調に推移している。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	通学路安全対策事業		
④上記方向性の説明	通学路での不審者情報などにより、学校・保護者などの関係者から通学路整備に関し新たな対応策が求められているため、早急に検討し、実施する必要がある。		